

児童相談所関連研修「児童福祉司（1～2年目）」（第2回）

【日時】	令和2年6月23日(火)・25日(木) 9:00～17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	65名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県柏児童相談所 職員 ・東京都品川児童相談所 職員 ・愛育研究所 客員研究員 山本 恒雄 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>児童福祉司（1～2年目職員）として求められる基礎的な知識・スキルを身につけ、調査・社会診断に基づき、子どもと家庭における課題を把握すると共に、的確なアセスメントに基づく相談援助・対応等を行うことができる実践的能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 多機関連携 ② ケースの進行管理 ③ 包括的アセスメント ④ 性的虐待への初期対応 ⑤ 社会的養護における現状と課題 <div style="text-align: right;">  <p>《講義の様子》</p> </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所で働き始めたばかりのこのタイミングで基礎となる部分を学ぶことで理解へとつながりました。 ・実際の事例ベースでケースの進行管理の考え方の枠組みやポイントを学ぶことができました。日々の業務に埋もれるケースがないよう、周囲を含めて巻き込みつつ、「気付いて動ける」ようになりたいと感じました。 ・学びたかったこと、聞きたかったことを聞くことができました。具体的に自分がケースワーク上でどのように使っていくか、進めていくかが大切だと思うので、資料等読み、再度復習していきたいです。 ・統計が確立していない中でも色々な数値に基づいたお話もあり、わかりやすかったです。また、エピソードも沢山ありだいぶイメージしやすく理解もしやすかったです。良い気づきになりました。